

公民館図書室 おすすめ本

小泉純一郎です。 一般書
内閣広報室メールマガジン編集部



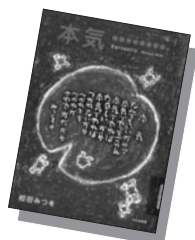
改革に挑み続けた宰相が、国民に語りかけた250の「ことば」、5年半にわたって小泉総理が毎週発信してきた「らいおんはーと」250回を「郵政民営化」「イラク問題」など内政・外交のテーマに分けて再編集し、注釈が加えられています。

秋の四重奏 小説
バーバラ・ピム



定年直前の男二人女二人の冴えない毎日、平凡といえば平凡そのものの人生、こういう生活でもじゅうぶんドラマに富んでいる。秋の四重奏は、低くしずかに奏でつづけられている。

本気 一般書
相田 みつを



だれにでも読める文字。だれにでもわかる言葉。相田みつを作品に詳しい人にも、少し知っている人にも、そして、全く知らない人にも相田みつをの世界が楽しめる本です。

デブになってしまった男の話 小説
鈴木 剛介



人生を狂わせてくれる恋をひとつください。コンプレックスと戦いながら生きていく全ての男女に贈る、切なくも元気をくれる恋愛小説。

いざというときに役立つ子育てアイデア 一般書
ヴィッキー・ランスキー



身の回りのものを徹底利用！えっ、こんなものが、使えるの！？アメリカを代表する、子育てと家事のヒント作家・コラムニストが、とっておきのアイデアを紹介します。

ざらざら 小説
川上 弘美



あいたいよ。あいたいよ。二回、言ってみる。それからもう一回。あいたいよ。愛しい風が吹き抜ける珠玉の短編小説集。

世界の果てのビートルズ 小説
ミカエル・ニエミ



粉雪の夜。十字路に寝ころんで、星を仰ぐ少年たち。愚かしく、けれど懐かしい日々。とめどない笑いと痛みにも似た郷愁。スウェーデン発のベストセラー傑作長編。

ありふれた魔法 小説
盛田 隆二



人生の予定が狂うほどの恋などするつもりはなかった。リアリズムの名手が、理性では抗えない人間・人生の不可思議を描く。

その他の新刊図書

まねしんぼう [宮西達也] / なりました [内田麟太郎] / ねえだっこして [竹下文子] / 河岸忘日抄 [堀江敏幸] / 負けてたまるか [腰原常雄] / 心ゆたかにに老いる「おつきあい術」 [吉沢久子] / 子どもが壊れる家 [草薙厚子] / みんなでね [まついのりこ] / おとうさん・パパ・おとうちゃん [宮西達也] / まわるまわる [宮西達也] / ワッハワッハハイのぼうけん [谷川俊太郎] / おかあさんのパジャマ [渡辺博子] / 千円札は捨つな [安田佳生] / ビーコの祈り [濱井千恵] / ないた [中川ひろたか] / どうぶつたちのオーケストラ [イーロー・オーリンズ] / まっすぐに [青木あざみ] / いのちの作文 [綾野まさる] / だっこだっこのねござかな [渡辺有一] / おじいちゃんのごらくごらく [西本鶏介] / おはよう [いもとようこ] / まっくるちゃん [こいわいさとこ]

年末年始を除く日曜・祝日も図書室を開館しています。幾寅地区以外の方につきましては、電話申込みにより巡回窓口車やまびこ号または各公民館にお届けしますので、ご利用ください。 公民館図書室 ☎ 52 2211